早稲田大学校友会 練馬稲門会ゴルフ部会会報



《会長挨拶》2023 (令和5) 年を迎えるにあたって



時の経つのは早いもので、今年も新緑の季節を迎えようとしています。 ゴルフ部会の皆様においては、楽しみなシーズンがやってきましたね! 3月初めから恒例の月例コンペが始まります。コロナ禍もやっと収まりつ つあり、グリーン上で伸び伸びとプレーができるものと思います。

1.2月の新たな"交流塾"にも積極的に参加され、腕を磨かれた諸先輩もいらっしゃると思います。昨年に引き続き、お天気の神様を味方にして、会員の皆様とともにプレーを楽しみましょう。奮ってのご参加をお待ちしてます。

2023 年上半期コンペ予定

2023年上半期のコンペ予定は、下表のとおりです。

会報発行が3月下旬にずれ込んだため、3月度(214回)コンペは3月8日に終了しています。当日は、暖かな好天のもと25名のみなさんが参加され、プレー後の懇親会で蔵本武紀さんの優勝をみんなでお祝いしました。

4 月以降のコンペについては、これまでの実績からいっても雨の心配はほぼいらないと思います。より多くのみなさんにご参加いただき、毎回のコンペを盛会で楽しいものにしていきましょう。

月度(通算回数)	期 日(曜日)	開催コース
3月度(214回)	3月 8日 (水)	高坂カントリークラブ
4月度(215回)	4月20日(木)	越生ゴルフクラブ
5月度(216回)	5月17日(水)	鳩山カントリークラブ
6月度(217回)	6月 8日 (木)	石坂ゴルフ倶楽部

月例コンペ成績

◆ 9 月度 (第 210 回) 月例コンペ

9月28日 (水)

高坂カントリークラブ

優勝: 根岸周平 (1978年 法)

優勝	根岸周平	72.4 (85 H12.6)
2位	田辺攻	73.5 (99 H25.5)
3位	剣持典夫	78.7 (103 H24.3)

ベスグ□ ┃ 根岸周平 ┃ 85 (42 + 43)

人 成 績



昭和53年法学部卒根岸でございます。 (現在もまだ高坂カントリークラブの総支配人をさせて頂いております。いつもご利用頂き誠に有難うございます。)

【個

この度は令和4年9月の例会で図らずも優勝させていただきました。 ありがとうございました。

私が稲門会に参加したのが50台前半の15年ほど前、当時から私より数段お上手な先輩方がどんどんゴールドティで回られるので、最近はドラコン、ニアピンは全く歯が立たず、入賞ははるか遠くに見ているだけ、加えて前週の同じコースのラウンドは100叩きでしたので「今回も参加するだけかな」と謙虚な気持ちで皆様をお迎えしました。が、そ

の懇親に徹しようとした心がけが渾身のショットに繋がったのか、それよりも若松さん、二宮さん、野口さんの温かいお心遣い (?) のおかげなのか、近年にないスコアで回ってくることができました、有難うございました。

ただ前回優勝したのも弊クラブだったので、内弁慶も甚だしいとのご指摘を当日頂きまして、忸怩たるものがあります。ので、今後は何とか他のクラブでも優勝できるように頑張りたいと思います。

引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

◆ 10 月度 (第 211 回) 月例コンペ

10月27日(木) 石坂ゴルフ倶楽部

優勝: 地平達郎(1972年 政経)

[個 人 成 績]

優 勝	地平達郎	79.3 (102 H22.7)
2 位	青山和雄	79.7 (103 H23.3)
3 位	大堀博之	80.3 (89 H8.7)
ベスグロ	大堀博之	89 (45 + 44)



ドライバーショットがままならない私には、フェアウェイが広く、全体 にゆったりしたレイアウトになっている石坂ゴルフ倶楽部はティショッ トでのプレッシャー少なく、大好きなコースのひとつです。

さらにこの日は大堀さん、西水流さん、牛山さんと、プレーの速い方と ご一緒できたので、ほんとうにいいリズムで回ることができました。特に プレーだけではなく、ゴルフに真摯に取り組まれる大堀さんは私の目標と するゴルファーのひとりで、一緒にゴルフをできるのが楽しみでした。

優勝するなど全く頭の中にはなく、あっという間に 18 ホールが終わり、 成績表を見るといちばん上に名前があってビックリ。「こんなこともある んだ……」と、改めてプレーに臨む心の大切さを学んだ1日でした。

◆11月度 (第 212回) 月例コンペ

11月22日(火)

武蔵の杜カントリークラブ

優勝: 西水流富男(1976年 社)

[個 人 成 績]

優 勝	西水流富男	75.7 (99 H23.3)
2 位	宇根等	75.9 (92 H16.1)
3 位	小島 滋	77.2 (99 H21.8)
ヾスグロ	小林康孝	90 (41 + 49)



思いがけない優勝

11月コンペ「武蔵の森カントリークラブ」での出来事でした。当日は100切りを目標に同伴者の小林さん、高崎さん、高山さんとのプレーでした。この優勝は私のハンディ23.3による優勝と思っております。当日の2位の宇根さんとは僅差の優勝でした。当日はショットが安定せず、同伴者のお三方にボールを探していただくことが多々あり、大変迷惑をかけての99という100切りでした。私のゴルフはいつもどこかで大たたきをして自滅の繰り返しでしたが、この日は大たたきすることなくプレーできたことは、同伴者のお助けがあったものと感謝しております。

令和5年となり、新たな気持ちで練習に励み、再度の優勝を目指して日

々精進していきたいと思っております。

◆ 12 月度 (第 213 回) 月例コンペ

12月6日 (火)

入間カントリークラブ

優勝: 宇根美紀子(宇根等氏の夫人)

[個 人 成 績]

優 勝	宇根美紀子	74.0 (114 H40)
2 位	北島秀樹	74.5 (91 H16.5)
3 位	小島 滋	75.2 (97 H21.8)
ベスグロ	若松常正	85 (45 + 40)



ハンディキャップ 40 の弁

練馬稲門会のゴルフ部に参加させて頂き、10年余りになります。途中両手の手術と治療で3年程休んでおりましたが、この数年また皆様とご一緒に楽しくラウンドしております。

HDC40 での優勝は何とも申し訳なく思っておりますが、今回は大先輩の出さん、大堀さんに黒河さんと同じ組で楽しくラウンドできたことが最大の勝因です。

20年程前に当時住んでいたブリスベンでゴルフを始めたのですが、グリップの握り方も儘ならず、距離も出ず、方向も定まらず私には非常に難しいものでした。ゴルフの素晴らしさが分からずにストレスを溜め込んだことも多

々あり、向いてないのではと諦めかけたこともありました。それでも広い野原を小さい白球を追いながら歩き回る楽しさが徐々に分かってきました。これからも飛距離は短くとも真直ぐに、バンカーを避け、池には入れずをモットーにゴルフを楽しんでいきます。

会員サロン

新入会員

橋口奈保さん(練馬区豊玉中)



幼少のころは父とゴルフの練習場に行っては、父がスパーンと打つボールの行方を見て、すごいなと思っていました。そんな私も早稲田大学の学生になると、授業とサークルと飲み会に忙しい毎日でしたが、友達にゴルフやってみないと誘われ、始めてみることに。

学生でお金もないので、まずは父に教えてもらいました。娘と一緒にコースをまわれるかも、と父は大張り切りで教えるのですが、私はクラブを振っても、振ってもボールに当たらない。たまにコロコロと転がる程度。父は「後ろに飛んでないからすごいよ」とよくわからないレッスンを数回しましたが、まったく当たらないので、やめてしまいました。

それから 20 年経ってゴルフをやり始めました。まだまだみんなにご迷惑をかけながらコースに出ていますが、学生のときにあきらめなければもっと上手かったかなと思いながらも、早く練馬稲門会のゴルフコンペに参加したいと思います。

幹事会だより

2023年は、幹事会メンバーに異動がありました。下記の新たな体制で引き続き、ゴルフ部会の円滑な運営にあたってまいりますので、よろしくお願いいたします。

2023 年幹事会メンバー		/バー	執務内容
部会長	三宅成嘉	(1976 商)	
副部会長	地平達郎	(1972 政経)	
幹事長	山口豊隆	(1969 商)	
常任幹事	若松常正	(1966 政経)	競技委員長
常任幹事	野畑 堯	(1973 理工)	事務局会計
常任幹事	北島秀樹	(1977 理工)	事務局会計
常任幹事	野口宏幸	(1977 法)	広報委員
常任幹事	牛山彰紀	(1969 教育)	会計監査
幹事	飯島 孝	(1967 法)	事務局長退任
幹事	野村洋子	(1973 文)	

* 広報誌作成協力 渡部由利 (1972 教育) 退任 近江幸治 大堀博之 (長年のお務めありがとうございました)

当ゴルフ部会も高齢化が進んでおります。 会員の皆様の中で、クラブ運営のお手伝いが出来る方を募っております。

ねりとうゴルフ交流塾

年明け早々の1月23日(月)に第1回目、2月24日(金)に第2回目のゴルフ交流塾(練習会)を開催しました。会場は再び、大泉町3丁目にある学園ゴルフセンターに戻りました。

長年コーチをしていただいた、五十嵐プロのご都合が悪く、 市川聡プロにお願いすることになりました。2回とも、フライトスコープ X3 という新兵器を使っての指導で、ヘッドの軌道 や、ボールのスピードなどの分析を加えながら、分かりやすい 指導をしていただき、大変好評な交流塾となりました。

いずれも、寒い日にも関わらず、参加人数は1月20名、2月16名となりました。



会計報告

(2022年7月~2022年12月)会計報告概要 単位:円

収入		支 出	
会費	387,000	賞品代	115,000
チャリティー	40,550	パーティー代	246,020
練馬稲門会からの補助	10,000	会報誌発行費	11,970
雑収入	0	交流塾費用	40,000
		その他雑費	8,310
前期よりの繰越金	251,755	次期繰り越し金(現金残高)	268,005
合計	689,305	合計	689,305

2023 年下半期コンペ予定

2023年下半期のコンペ計画の現状は、以下のとおりです。

開催コースは、各回とも確定しています。ただ、開催期日は、コース予約が取れない時期であるため、 10月度コンペを除いて確定していません。(次号の会報で、確定版をお知らせします。)

さて、10 月度コンペは、10 月 24 日(火)に、高麗川カントリークラブで開催します。当該コンペは、 練馬稲門会 45 周年を祝うゴルフ部会としての 45 周年関連行事として実施すること考えております。

月度(通算回数)	期 日(曜日)	開催コース
9月度(218回)	未定	清澄ゴルフ倶楽部
10月度(219回)	10月24日(火)	高麗川カントリークラブ
11月度(220回)	未定	武蔵の杜カントリークラブ
12月度(221回)	未定	入間カントリークラブ

編集後記

練馬稲門会ゴルフ部会の会報は、過去2年間、新型コロナウイルスの影響から、年1回発行(8ページ立て)に留めていましたが、これを年2回発行に戻す方向で、昨年10月に2022年夏号(6ページ立て)を、そして今回2023年第1号(6ページ立て)を発行しました。年2回発行に戻すのはこまめに情報提供していくためですがその移行がスムーズにいかず、発行が相当遅れてしまったという反省があります。次号は、この反省を生かします。

また、今回最終ページに 2023 年下半期のコンペ計画を掲載しました。まだ日程を入れられない月がほとんどですが、10月月例会だけは、日程、場所とも確定しています。特別の催しとなりますので、参加に向けた検討をお願いします。

ゴルフ部会の月例会コンペは、もう長年にわたり雨で中止という事態とは無縁です。前会長の栗原さん、現会長の三宅さんと続く晴れ男の神通力が効いているのは間違いなく、本当に有り難いことです。これからの月例会も晴れを信じていきましょう。

ところで、最近思うことですが、60 歳台あるいはそれより若い方の入会が細っているように感じます。 練馬稲門会ゴルフ部会がいつまでも盛会で楽しく続いていくためには、若い方々の継続的な入会が欠かせ ません。そうした認識をみなさんで共有し、若い方の入会の機会を探っていきましょう。

(広報担当 野口宏幸)

★ 『ねりとう GOLF』2023 年第1号 Vol. 29 発行日:2023 年 x 月 x 日

★ 発行: 早稲田大学校友会 練馬稲門会ゴルフ部会

★ 編集:野口宏幸・渡部由利

★ 印刷:(有)ヒイラギ堂 電話:03-3933-9591

